

〔 特 集 〕

子どもの熱中症

子どもの熱中症は、蒸し暑い屋内での日常生活中に徐々に体調を崩して複合的な重症熱中症に陥る非労作性（古典的）熱中症ではなく、屋外活動やスポーツ中に陥る労作性熱中症が中心です。健康な子どもたちが、暑い（蒸し暑い、風のない）環境のなかで、筋肉運動を伴って短時間のうちに発症する、という特徴があります。ただ、ここ数年、これとはカテゴリーの違う車内への置き忘れや閉じ込め放置による死亡例がマスコミで報道されています。

そこで、最近の子どもの熱中症発生の実態、日本の近年の夏の気候変化、熱中症という危険な病気の本質、子どもの生物学的な特徴とともに、暑い時期の新型コロナウイルス感染症を含む高体温の鑑別診断、子どもたちを守るためのさまざまな熱中症予防対策と現場の声、民間における啓発活動などを集めました。

熱中症という病気を理解し、日本の夏の気候の変化を知り、学校、保育施設を含む夏季の安全な屋外活動やスポーツイベントの開催、日常生活における熱中症予防への一助となる特集になっています。目の前に迫った今年の夏の熱中症対策、そして来年の夏の熱中症予防計画に役立てていただけると幸いです。

（帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター／
帝京大学医学部救急医学講座 三宅康史）

